

2025.04.10 対面式で演奏しました！



和太鼓部が対面式で演奏をしました。

この対面式は二代目和太鼓部として初の舞台であり、部員は春休みから「どうすれば歓迎の意を伝えられるか」と沢山話し合ってきました。そしてこれまで気にもしていなかった演出にまで考えを張り巡らせ、今までにないステージを披露することが出来ました。

また、太鼓芸能集団「鼓童」の公式提供楽曲である「春風」という曲目を今回初めて披露しました。和太鼓だけでなく鳴り物や篠笛への挑戦に当初は苦しみましたが、粘り強い努力で見事自分のものにし、見応えのあるステージを実現することが出来ました。

昨年度、本部活動を応援してくださった保護者様や卒業生、教職員など関係者の皆様の応援のおかげで今の和太鼓部があります。感謝の気持ちを忘れず二代目和太鼓部も精力的に活動していきますので、今年度もよろしくお願いたします。

2025.05.14 体育大会に向けて練習中です！



二代目和太鼓部が体育大会に向けて練習中です。

対面式での演奏の甲斐あり、沢山の 신입部員が入部してくれました。新1年生は入部当初から熱心に練習に取り組み、またそんな彼らを指導する2・3年生も責任感が感じ取られる顔つきに変わってきました。

5月30日に開催される体育大会が新1年生にとって初めての演奏披露の場となります。演奏曲目は1年生の練習の成果が感じられる曲、そして二代目和太鼓部の躍進を予感させる曲の2曲を予定しています。

体育大会の盛り上がりを後押しできるよう、残りの期間も全力で練習していきます。

2025.05.21 マネージャーが大活躍中です！



マネージャーが大活躍中です。

昨年度、本校和太鼓部は外部に対する露出が一気に増えました。そんな中、現3年生の建築科生徒が「ずっと前からこの部活の演奏のファンで、マネージャーとして貢献させてください！」と入部してくれました。マネージャーの仕事はタイマー管理や和太鼓のメンテナンス、部員一人ひとりの調子の確認や演奏時のアシスタントなど多岐に渡ります。これを一人でこなしてくれています。まさに縁の下の力持ちです。

彼が他校のマネージャーと異なる点が一つあります。それは「モノづくりが出来るマネージャー」ということです。現在彼を中心に和太鼓の種類に応じた台の制作をしています。実習で使用し廃材となった木材を活用し、既製品の模倣ではなく本校部員の要望に沿ったオリジナルの台を彼が提案・制作しています。また、「この台が他校でも必要となった時に普通科の生徒が無理なく制作できるように極力単純な構造で最大の耐久性を」という構想も立てています。

単に和太鼓演奏の技術を向上させるのではなく、葛西工科でないと奏でられない音を部員たちは目指しています。そこにこのような形でマネージャーも貢献しています。そんな部員たち全員で金賞受賞を目指して頑張りますので応援のほどよろしくお願いします。

2025.05.28 OB・OGの先輩方が駆けつけてくれました！



OB・OGの先輩方が駆けつけてくれました。

本部活は平成 26 年から始まりました。当初は「葛工ねぶた祭り」のために組織された「ねぶた部」という名称でした。次第にねぶた制作とともに和太鼓やお囃子にも取り組むようになり現在の和太鼓部の原型が作られました。コロナ禍に活動が制限され、その後「葛工ねぶた祭り」も実施が困難な状況となり、現在は和太鼓演奏に専門的に取り組む部活となりました。

今、私たちが不自由なく和太鼓演奏に打ち込めるのは歴代の先輩方が部活動を繋いでくださったおかげです。学校や地域が和太鼓を応援してくれる土壌や整備された環境、これらは間違いなく卒業生の実績や関係者様の応援支援によるものです。

部活動の名称は変わりましたが「葛西工の和太鼓」が持つエネルギーや魅力は今も昔も変わりません。今後も精一杯活動していきますので引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

2025.06.02 体育大会で演奏しました！



二代目和太鼓部全員での初演奏でした。

1曲目「水駆」。

本校で最初に覚える楽曲であり、構成はシンプルなものやリズム、掛け合いなどが繊細であり、奏者によって清流のようにも激流のようにも映る曲です。1年生はこれを1カ月で見事自分のものとなりました。伸び代はまだまだあるものの、基礎練習や自主練習での彼らの努力が形となった見事な演奏でした。

2曲目「族」(和太鼓集団鼓童提供楽曲)。

本校和太鼓部にとって想い入れのある楽曲であり、葛西工科独自のアレンジを加えています。

多くの個性がぶつかり合いつつも共生し、それが人の心に伝播し躍動をもたらすような曲です。

昨年度から地道に積み重ねてきた演奏の基礎基本が着実に実を結んだ、今までにない迫力のある族であり、2・3年生のプライドを強く感じました。

保護者様、ねぶた部の先輩方、初代和太鼓部の先輩方、関係者の皆様のおかげで今の本部活の盛り上がりがあります。感謝の気持ちを決して忘れず次の演奏に向かって精進します。

ご多忙のところ体育大会に来場してくださった皆様、本当にありがとうございました。

2025.06.21 合同練習を行いました！（都立篠崎高等学校）



都立篠崎高等学校和太鼓部の皆さんと合同練習を行いました。

昨年の夏、初めて同校と合同練習をさせていただいたあの日、本校和太鼓部は沢山の刺激を受け部風がガラリと変わりました。

二度目の合同練習となった今回でしたが、やはり多くのことを勉強させていただきました。単に和太鼓演奏技術のみを練習するのではなく、ダンスや自身の考えを主張する場など、表現者にとって重要な要素を鍛えるシーンが多く見られました。

本校部員は圧倒されつつも昨年のように全くついていけない場面は少なく、文字通り合同で練習を行うことができました。部員の顔からは、この1年間やってきたことが間違っていなかったことを確認できたような表情が感じ取れました。

同じ江戸川区に東京都屈指の強豪校があることは恵まれていることです。背中を追いつつも競争心を持ち、今後もこの素敵な縁を大切にしていってくださることを願っています。

2025.07.11 卒業アルバムを撮影しました！



二代目和太鼓部 3 年生の卒業アルバム写真を撮影しました。

現 3 年生はねぶた部として 1 年生を、和太鼓部として 2 年生を過ごした生徒です。

新しいことが始まった時、これまでのものが終わった時、それら全てを見てきたのが彼らです。

そういった経験を通してか、3 年生らしい顔つきで卒業アルバムの写真を撮影してくれました。

また、そんな 3 年生の宝物になるかもしれないこの写真撮影に、1・2 年生は明るく楽しみながら臨んでくれました。

和太鼓に対して、部活動に対して熱い気持ちを持つ 3 年生だからこそ、部員同士ぶつかり合う瞬間もあります。そんな彼らにしか奏でられない音があります。

今後も葛西工科の和太鼓をよろしくお願いします。

2025.07.12 夏の公演に向けて練習中です！



夏の公演に向けて練習中です。

今夏は以下3つの公演が予定されています。

- ① 7/22 ソウル大学農業大学校視察団 歓迎演奏 @都立葛西工科高校
- ② 7/26 音羽青年会夏祭り 演奏出演 16:00～ @音羽パークロード
- ③ 8/13 第27回 太鼓の宴 演奏出演 18:15～ @深川富岡八幡宮特設ステージ

本部活保護者様をはじめ外部の方々からも演奏依頼をいただきました。

②③は来場自由となっています。部員の新たな試みを応援していただけますと幸いです。

また、これらの公演に向けての練習にOBOGが応援に来てくれました。

卒業してもこの部活を愛してくれる先輩方に感謝します。

新しい挑戦に伴い多くの課題が浮き彫りとなりますが、部員全員が全力でぶつかりますので応援のほどよろしくお願いいたします。

2025.07.22 ソウル大学農業大学校視察団の皆様へ歓迎演奏をしました！



ソウル大学農業大学校視察団の皆様が、日本の産業系高等学校を視察するため来日されました。

その中の一校として本校が選ばれ、和太鼓部が歓迎演奏を行いました。

体育大会よりもパワーアップした「族」、そして歓迎の意を表現した「春風」の2曲を披露しました。

40名近くの視察団の皆様が手拍子やリアクションを豊かにとってください、小規模ながらも大いに盛り上がる演奏となりました。

また、演奏終了後には外部指導員の先生が部員全員に牛丼を差し入れてくださいました。

皆で輪になって差し入れを食べながら、演奏の話や何でもない話を楽しそうにしており、部員にとって一つ夏の思い出が出来たように感じます。

この夏はまだ演奏公演が続きます。部員一丸となって精進しますので、引き続き応援のほどよろしく願います。

2025.07.26 音羽パークロード夏祭りで演奏をしました！



文京区の音羽青年会様より演奏依頼を頂戴し、音羽パークロード夏祭りで演奏をしました。

本部活にとって初の外部での依頼演奏でしたが、おかげさまで大成功と呼べる公演となりました。演奏前には緊張で固くなったり、反対に演者として心が高ぶったりと、普段は見られない部員の一面を見ることが出来ました。いざ演奏が始まるといつも以上に迫力のある音圧で、また部員の真剣な表情も相まり一気に本部活の世界観を作り出せました。観客の皆さんも温かく、演奏をはじめ部員の MC も盛り上げてくださり、最後にはアンコールまでいただきました。この地と深いつながりがあったわけではない本校部員を温かく迎え入れてくださったこと、感謝申し上げます。

人前で演奏するという機会を重ねることに、和太鼓奏者としての表現力や技術は勿論、人としても自信がついてきていることがありありと伝わります。そういった経験を通して彼らが社会人としての人間力の土台を築いてくれたら、それが応援してくださっている方々への一番の恩返しになると信じています。

今回の演奏に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

2025.08.13 第 27 回太鼓の宴で演奏をしました！（富岡八幡宮）



江東区の富岡八幡宮にて行われた例大祭「太鼓の宴」に出演しました。

この「太鼓の宴」は今年で 27 回を迎え、歴史と由緒ある奉納行事です。今回、縁あって本部活はこれに出演させていただきました。

部員がこれまで経験してきたどの舞台よりも規模が大きく、また「奉納」という行為に初めて向き合ったステージでもありました。いつものパフォーマンスが出せなかったり、反対に大勢の観客の皆様から賞賛の声や拍手をいただいたりと、部員たちは沢山の気づきを得ることが出来ました。江戸の三大祭りと呼ばれるこの行事に携わらせていただいたこと、そして本校部員に成長の機会を与えてくださったこと、関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

この夏、いただいた演奏依頼の全てに部員たちは精一杯取り組みました。部活内ではまだまだ乗り越えなければならない課題もありますが、そんな彼らがデコボコなりにこの夏に向き合った和太鼓演奏の数々は、多くの人々の心に残ったことと思います。この経験と感謝の気持ちを忘れずに今後も活動していきますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



ステージのトップバッターを任せられ、今までにない緊張感を纏いながらの演奏となりました。

#### 1曲目「族」（和太鼓集団鼓童提供楽曲）

この曲は葛西工科独自のアレンジを加えたものを歴代引き継いでいますが、二代目和太鼓部では今の部員たちで近づけられるだけ本家の要素を取り入れるようにしており、この江戸川区民祭りの直前までアレンジを検討して臨みました。部員たちは激しくも繊細に演奏し、成長を感じられるものとなりました。

#### 2曲目「春風」（和太鼓集団鼓童提供楽曲）

葛西工科の良さが全面に出る曲です。笛や鳴り物など演奏の幅の広さを始め、部員同士のアイコンタクトも豊かで、見ている側が楽しい気持ちになれるのがこの曲です。「この祭りを盛り上げる」という部員の気持ちが全面に出た演奏でした。

この江戸川区民祭りに出演するにあたり本校 PTA の皆様にも多大な御支援をいただきました。また、区民祭りとあって和太鼓部ではない生徒や保護者の皆様、OB にも沢山の応援をいただきました。本当にありがとうございました。

沢山の方々に支えられていること、これが当たり前でないということを忘れずに今後も活動していきます。

2025.10.31～11.01 江紫祭で演奏しました！



江紫祭で演奏しました。

一日目(校内開催)は例年通り生徒昇降口前で、多くの人に様々な角度から見ていただきました。

二日目(一般公開)は和太鼓転換中の演出や照明、新曲を多く取り入れた構成など、これまでにないステージを見せることが出来ました。

また、一般公開では大会曲である「<sup>とき</sup>関の<sup>おと</sup>音」を初披露することも出来ました。

二代目和太鼓部は外部演奏や新しい曲目の導入など、本当に多くのことに挑戦をしてきました。

その度に課題が浮き彫りとなり思い悩むことが多く、楽しみと同じだけ苦しむ場面がありました。ですが3年生が力強く引っ張ってくれたおかげで今があります。

そんな二代目和太鼓部の最後のステージが以下の通り実施されます。

大会 第48回東京都高等学校文化祭「第34回郷土芸能部門 中央大会発表会」

日時 令和7年 11月16日(日) ※14:48頃 本校演奏

場所 日本工学院蒲田キャンパスアリーナ

この一年間の集大成となるステージです。応援のほどよろしくお願いいたします。

2025.11.16 第34回郷土芸能部門中央大会発表会で“銀賞”を受賞しました！



部員たちはこの大会に懸けて一年間活動してきました。

各校が自校の特色や強み、伝統文化を重んじる演奏、一糸乱れぬ表現を披露する中、本校部員が演奏した大会オリジナル曲「**鬨の音** 一第二陣一」は会場に大きなインパクトを残す異色な演奏でした。

まず上裸、そして晒にニッカポッカ、筋骨隆々な男子に引けを取らず大太鼓を扱う女子、力任せながらも会場の奥まで飛ぶように聞こえる揃った打音、伝統芸能の大会とは思えないほど間奏で踊り狂う部員、その裏で繊細に音をコントロールする3年生。本校の部員でないと出来ない、まさに唯一無二の演奏でした。

結果は“銀賞”でした。この一年間の目標は金賞受賞でしたが及ばず、しかし創部2年目で昨年度の銅賞を超えることができたことを誇りに思います。

“銀”は、部員たちがこの1年間取り組んできたことの中に、正しかったことと間違っていたことが沢山あるということの証明の色のように感じます。

これで3年生は引退となり、これからは三代目和太鼓部の出番となります。この代は、今までで最も和太鼓を叩いてきた代となります。3年生の想いを継ぎ、全力で活動しますので引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

関係者の皆様、また二代目和太鼓部を応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。

2026.02.07 高校生太鼓祭りに向けて合同練習をしました！



2月15日に行われる高校生太鼓まつりに向けて多くの学校と合同練習を行いました。これは本校外部指導員の先生が企画してくださり、演奏予定の東京都和太鼓部高校生の楽曲「大喝采」の合同演奏練習を主としたものです。この先生は本校部員に「和太鼓を通して青春をして欲しい」とよく言います。この言葉を体現するかのように、合同演奏企画には都内各地の高校生100名以上が参加予定、また練習終了後には和気あいあいとコミュニケーションを取る姿も多く見られました。そんな生徒たちの様子から、この先生は本校和太鼓部だけでなく、東京都の高校生和太鼓のためにも非常に重要な存在なのだと感じるようになりました。

そんな先生に和太鼓を教えていただいていることに感謝の気持ちを持ちながら3代目和太鼓部は活動していきます。

引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

2026.02.15 第 11 回高校生太鼓まつりに出場しました！



第 11 回高校生太鼓まつりに出場しました。  
大会のように競い合うのではなく、各校が自校の曲を見せ合い「認め合う」ことを目的とした催しです。  
これが三代目和太鼓部として初の演奏の場でした。

曲は「極夜の抗争」。二代目和太鼓部部长がゼロから作曲した本校オリジナルの新曲です。  
以下作曲者説明文

「極夜の抗争」。  
荒々しい工業高校生が起こす抗争。  
極夜とは一日中太陽が昇らない現象。  
薄暗い時分に抗争は行われ、そしてその日は極夜。  
朝が来ることを知らずに戦い続け、そんな彼らの「抗争」はいつまでも終わらない。

私たちの学校ではよく喧嘩が起こります。これもまた工業ならではの特徴かもしれません。喧嘩をしてしまう人、先生に反抗する人。その人たちは何と戦っているのか、何を守りたいのか。それはその人にしか分からないことです。そしてまた、私たち葛工健児は何のために和太鼓を叩いているのか。「抗争」するのか。

私たち葛工健児は、高い目標のために「極夜に抗争」を起こします。いつの日か雇いたとしても、次の更なる高い目標のために戦い続けます。葛工健児は誰よりも練習し、和太鼓を叩き、終わることのない「抗争」を仕掛けます。

会場の空気を飲み込むような演奏で沢山のお褒めの言葉もいただき、三代目和太鼓部として最高のスタートが切れました。

また、参加生徒が合同で演奏する企画もあり、100 名を超える生徒が曲を介して楽しそうに心を通わせる場面がありました。これに 3 年生のマネージャーも参加し、各々にとってかけがえのない思い出を残すこととなった発表会となりました。

会場まで足を運んでくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

2026.03.12 第二回定期演奏会を実施します！



都立葛西工科高等学校和太鼓部「第二回定期演奏会」を以下の通り実施いたします。

日時：令和8年3月21日(土) 16:30開演

会場：ユートリヤ墨田生涯学習センター マスターホール

昨年度とは異なり、第二回は外部施設での公演に挑戦します。また、これが二代目和太鼓部として最後の演奏になります。部員一同、この一年間の全てをぶつけますので応援のほどよろしくお願ひいたします。

※なお、定員が150名弱となっており、部員関係者でそのほとんどが埋まる見込みです。こちらのHP経由で興味を持ってくださった方は、一度本校(和太鼓部主顧問)に問い合わせしていただけますと幸いです。当日来場ですと会場に入場できない可能性がございますので御承知おきください。

## 2026.03.21 第二回定期演奏会を開催しました！



第二回定期演奏会を開催しました。第一回とは異なり外部施設にて公演を行い、初めて「自分たちだけを見に来てくれたお客さんをもてなす」ということを経験しました。この一点に関しては課題が沢山残り、1・2年生は自主公演の難しさを肌身で感じていました。一方で御来場いただいた観客の皆様が豊かにとってくださるリアクションや、公演終了後に部員にかけてくださる温かい言葉の数々は彼らにとってかけがえのない財産になりました。

本公演を通して、二代目和太鼓部の先輩方、そして関係者の皆様を支えられていることを深く実感しました。半人前ではあるものの立派に自分の意見を持つ部員たち、そんな彼らをあの手この手で支えてくださる外部指導員・保護者の皆様・OBOGの先輩方・教職員、この方々のおかげで葛西工科の和太鼓は成り立っています。1年間本当にありがとうございました。

この公演でいよいよ3年生が本当に引退しました。最後のミーティングで紡がれた想いを、全てのことに対する感謝の気持ちを、三代目和太鼓部は常に忘れず活動していきます。